

マンションの防災

～日頃の備えが大切～

尾張旭市でも多くの市民の方がマンションに住んでいます。耐震基準を満たしたマンションは建物に亀裂などが発生しても、倒壊することはほとんどないといわれています。

被害が軽微であれば在宅避難が可能ですが、自宅マンションで在宅避難を続けるためには、各家庭での備えに加え、マンション居住者全体での備えが大切です。

マンションならではの防災を意識して、備えを進めましょう。

巨大地震発生！マンションでは何が起こるのか

長周期地震動の発生

特に高層マンションでは揺れの周期が長い長周期地震動が発生しやすく、ゆっくりと長く大きな揺れが生じ、大きく重い家具でも移動したり転倒したりします。



エレベーターの停止

中に閉じ込められたり、高層階からの移動が困難になります。



送水ポンプの停止

水道が使えない場合があります。備蓄がないと低層階でも水の運搬が大変です。

マンションの○と×

【高い耐震性】

耐震基準を満たしたマンションはほとんど倒壊しない

【共有スペースがある】

居住者で話し合ったり、備蓄品の仮置き場などで使える

【助け合える】

居住者で相談したり、協力し合って生活することができる

【エレベーターの停止】

高層階居住者、障がい者の移動が困難になる

【トイレが流せない】

排水管が破損するとトイレが流せない

【共用設備が使えない】

停電により機械式駐車場やオートロックが停止

マンション居住者がとるべき行動

各家庭で備える

自分と家族の安全確保

家具の転倒などから身を守る。エレベーターに乗っていたらすべてのフロアのボタンを押し、最初に止まった階で降りる。



世帯の無事を知らせ、隣近所の安否確認

世帯の安全が確保されたら無事を知らせ、隣近所に声かけをして無事を確認。

在宅避難ができるか

倒壊の可能性が低ければ、在宅避難が可能。



ポイント

- 最低3日、できれば1週間分の備蓄（水、食料、トイレ処理剤など）
- 家具の配置や転倒防止対策

居住者で備える

共用スペースの活用

支援物資の仕分けやストレスの溜まりやすい子どもの遊び場などでも使える。



情報の共有、作業の分担

避難所との連絡、物資の運搬、支援を必要とする人への声かけなど、居住者同士で分担して、過ごしやすい環境を整える。

マンションは無事！在宅避難ができる！でもその前に。。

トイレは流さない



建物は無事でも排水管が破損していた場合、上の階の居住者がトイレを流すと下の階で汚水が溢れる可能性があります。

排水管の無事が確認できるまではトイレは流さずに、トイレ処理剤などを活用して乗り切りましょう。

エレベーターは使わない

停電や故障など、緊急停止する可能性があります。点検が終わるまでは階段を利用しましょう。そのため、各家庭で備蓄を進めるとともに、マンションでの備蓄品などは複数階に備えておくと良いでしょう。



マンション共助のすすめ

マンション等の共同住宅では、管理組合や自主防災組織をはじめとしたマンション居住者全体で助け合える体制を整えておくことが大切です。エレベーターの復旧方法、排水管の確認手順、居住者同士の情報共有方法など、あらかじめルールを決めておくことが重要です。

マンション全体で備えよう

- ・平時から掲示板などで防災啓発を行う
- ・隣近所と顔の見える付き合い
- ・災害発生時の共有スペースの活用を決めておく
- ・管理組合や自主防災組織でも備蓄を進める
- ・消火器や発電機、リヤカーなどの資機材を備える
- ・防災マニュアルの作成、防災訓練の実施
- ・自主防災組織の結成
- ・居住者名簿や要配慮者名簿の整備



防災ガイドブック



在宅避難のすすめ (PDF)

